基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	農業振興事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	町民、農業者	目的	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。			
事業概要	次世代を担う農業者への支援や農林水産まつり、各種団体を通じた地元農産物の普及等を促進し、農業の振興に取り組む。					

事業予算

会計	01	款項目	05	01	03	大事業	農業振興事業

	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	8,099	6,179	5,305		
概算人件費	4,180	4,084	4,084		
トータルコスト	12,279	10,263	9,389	0	0
国庫/県支出金	3,128	4,370	3,816	0	0
その他	187	171	200	0	0

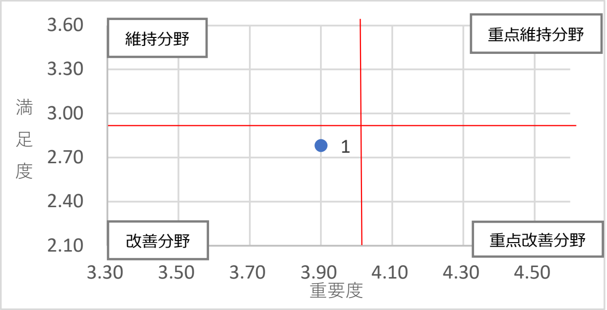
R６概算人件費			
正規職員	0.98 人	3,940 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
その他	人	千円
合計		4,084 千円

	成果指標		基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	認定新規就農者数【戦略】（人）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		1	2			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、「地域計画」を一色地区で策定した。
	課題	・全国的に農業の担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める
今年度	成果（実績）	・地域計画を山西・川匂地区、二宮・中里地区で策定した。
	課題	・全国的に農業の担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	農業委員会運営経費				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	関係法令に定められた許可等の審議を適正に行うとともに、農地利用の最適化を図る。			
事業概要	農業者への啓発・情報提供、農業委員会活動の運営などを行い、農地保全や地域農業の振興を図る。					

事業予算

会計	01	款項目	05	01	01	大事業	農業委員会運営経費

	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	2,835	2,615	2,790		
概算人件費	2,325	2,358	2,358		
トータルコスト	5,160	4,973	5,148	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

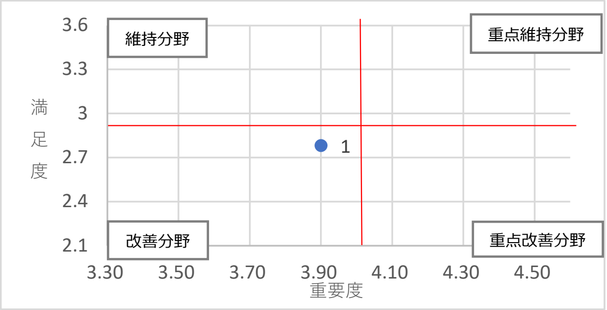
R６概算人件費			
正規職員	0.46 人	2,213 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
その他	人	千円
合計		2,358 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	集積面積（新規）（ha）	計画値	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
		実績値		0.37	1.32			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・農地の集積には担い手の確保が必要であるため、引き続き農地の集積に並行して担い手の確保に努める。
	課題	・全国的に農業従事者は減少傾向が続いている。
今年度	成果（実績）	・農地の集積には担い手の確保が必要であるため、引き続き農地の集積に並行して担い手の確保に努める。
	課題	・全国的に農業従事者は減少傾向が続いている。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	農業者年金事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	
事業対象	農業者	目的	農業経営者の農業者年金への加入促進をすることにより、老後の生活安定を図る。			
事業概要	農業者年金に加入することで、国民年金と併せて受給することができるため、啓発に努め農業者の老後の生活安定を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	大事業：農業者年金事業
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	34	33	39		
	概算人件費	478	511	511		
トータルコスト		512	544	550	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		34	33	39	0	0

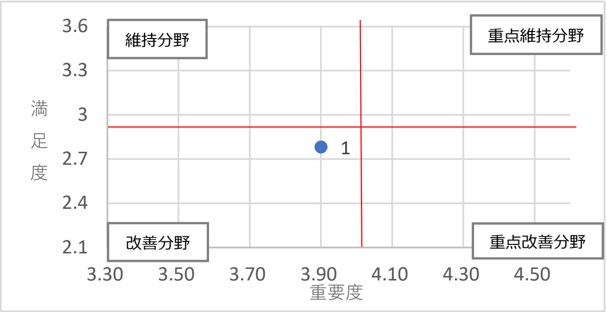
R６概算人件費			
正規職員	0.08 人	366 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
その他	人	千円
合計		511 千円

	成果指標		基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・農業者の生活安定を図るため、引き続き積極的な周知に努める。
	課題	・離農や高齢化等による加入対象者の減少。
今年度	成果（実績）	・農業者の生活安定を図るため、引き続き積極的な周知に努める。
	課題	・離農や高齢化等による加入対象者の減少。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	畜産推進事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	畜産農家	目的	畜産経営を維持強化するため、関係団体の育成及び補助事業等を実施する。			
事業概要	町内の畜産農家が組織している畜産会に補助金を交付し、飼育技術の向上や酪農の啓発など畜産経営の支援に努める。					

事業予算

会計	01	款項目	05	01	04	大事業	畜産推進事業

	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	2,999	425	619		
概算人件費	839	871	871		
トータルコスト	3,838	1,296	1,490	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

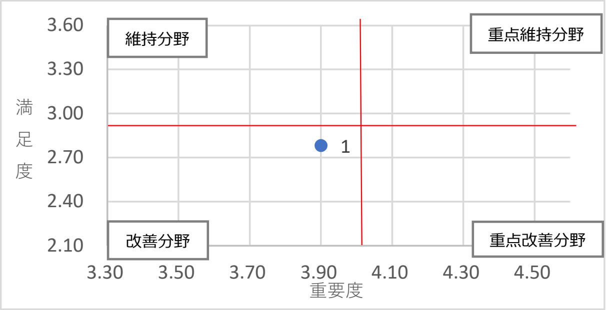
R６概算人件費			
	正規職員	0.20 人	726 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		871 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	飼育頭数（頭）	計画値	45	45	45	45	45	45
		実績値		45	43			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・価格高騰対策として飼料価格上昇分に対し補助を実施した。
	課題	・酪農業者の円滑な事業継承を支援する
今年度	成果（実績）	・環境汚染防止及び家畜糞尿の有効利用の促進のため、家畜糞尿天日乾燥施設（堆肥化）の修繕に対し補助を実施した。
	課題	・酪農業者の円滑な事業継承を支援する

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	有害鳥獣対策事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	農業者	目的	農作物を野生鳥獣から守るために、自主防除及び駆除を中心とした対策を支援する。			
事業概要	農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。					

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	有害鳥獣対策事業

		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	626	1,417	2,075		
	概算人件費	1,123	1,154	1,154		
トータルコスト		1,749	2,571	3,229	0	0
国庫/県支出金		131	419	691	0	0
その他		0	0	0	0	0

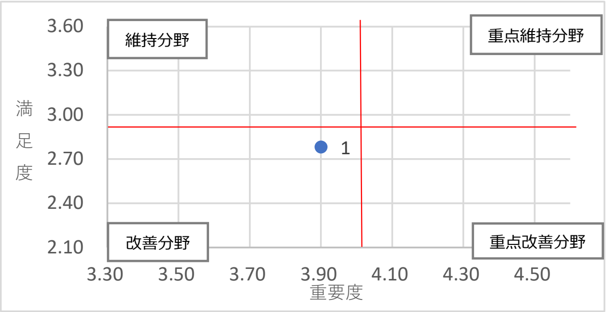
R６概算人件費			
	正規職員	0.25 人	1,010 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		1,154 千円

	成果指標		基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	−	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・町補助金による自主防除の支援を実施し、有害鳥獣対策協議会との連携より、大型有害鳥獣の捕獲や、広域柵の設置を行った。
	課題	・有効な捕獲方法の検討及び、広域防護柵の設置個所の選定に努める
今年度	成果（実績）	・町補助金による自主防除の支援を実施し、有害鳥獣対策協議会との連携より、大型有害鳥獣の捕獲や、広域柵の設置を行った。
	課題	・有効な捕獲方法の検討及び、広域防護柵の設置個所の選定に努める

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	土地改良事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	
事業対象	農業者	目的	農道の整備及び維持管理を行う。			
事業概要	農道の整備及び維持管理を行う。					

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	05	大事業	土地改良事業

		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	24,289	26,739	13,823		
	概算人件費	1,074	1,233	1,233		
トータルコスト		25,363	27,972	15,056	0	0
国庫/県支出金		2,500	2,500	1,580	0	0
その他		0	0	0	0	0

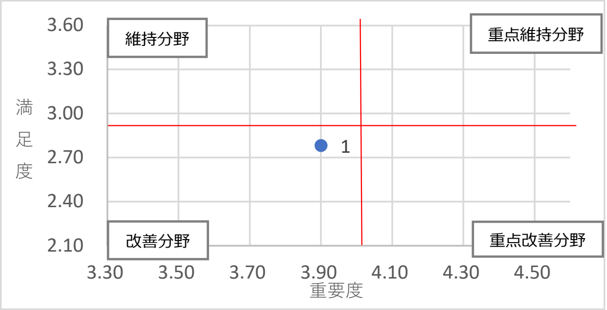
R６概算人件費			
	正規職員	0.25 人	1,089 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		1,233 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	−	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・平成28年度より実施している一色地内（兎沢）護岸工事が完了した。排水路の改修や経年劣化による農道の破損修繕をおこなった。
	課題	・補助金・交付金を活用し、費用対効果を踏まえ農道整備・修繕を行う。
今年度	成果（実績）	・中里地内の農道拡幅工事に着手した。台風に伴う大雨の影響により発生した崩土の復旧工事等を実施した。
	課題	・補助金・交付金を活用し、費用対効果を踏まえ農道整備・修繕を行う。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	●
事業対象	農業者	目的	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。			
事業概要	農業委員の業務として農地パトロールを実施し、遊休農地や違反転用などの実態があった場合には、所有者に指導等を行い農地の保全に努める。					

事業予算

会計	01	款項目	05	01	01	大事業：遊休・荒廃農地対策事業
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	746	1,873	767		
	概算人件費	1,997	2,030	2,030		
トータルコスト		2,743	3,903	2,797	0	0
国庫/県支出金		219	1,050	230		
その他		0	0	0		

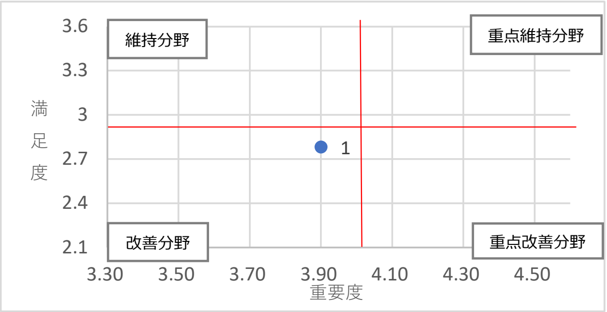
R６概算人件費	正規職員	0.41 人	1,885 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		2,030 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	認定新規就農者数【戦略】（人）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		1	4			
②	遊休荒廃地の復元整備支援件数【戦略】（件）	計画値	1	5	5	5	5	5
		実績値		2	3			

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。
	課題	・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。
今年度	成果（実績）	・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。 ・農地所有者に対しアンケート調査を実施し、地域計画の目標地図素案を作成した。
	課題	・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	ふれあい農園事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	
事業対象	町民	目的	農地の荒廃化の防止と町民の余暇利用を促進する。			
事業概要	借地した農地を106区画に分け、町民にふれあい農園として貸し出しを行っている。					

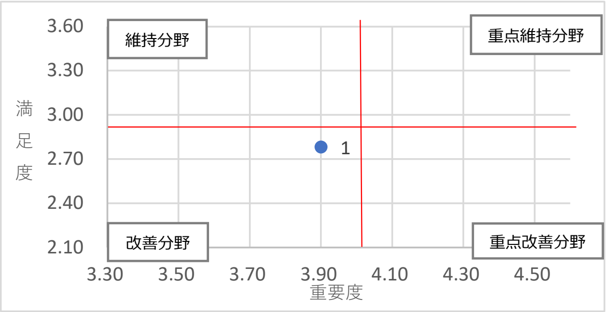
事業予算						
会計 01	款項目	05	01	03	大事業	ふれあい農園事業
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費	
直接事業費	199	203	219			
概算人件費	647	679	679			
トータルコスト	846	882	898	0	0	
国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
その他	230	222	230	0	0	

R６概算人件費			
	正規職員	0.14 人	535 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		679 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	貸出区画数（区画）	計画値	106	106	106	106	106	106
		実績値		105	102			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	耕作に適さない１区画を廃止した。年度途中で解約となった区画については、迅速に貸し出しを行った。
	課題	利用者による適切な管理を促進するとともに、民間管理の市民農園についても管理支援に努める
今年度	成果（実績）	ふれあい農園として貸し出しを行い町民の余暇利用に寄与した。
	課題	利用者からの返却時に区画の整理（片付け）がされず、その後の貸し出しが進まない区画があったため、利用者による適切な管理を促進するとともに、民間管理の市民農園についても管理支援に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	里山再生育成事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	山林所有者等の協力を得て、教育活動やボランティア活動による里山体験を促進し、里山の再生育成を図る。			
事業概要	里山の再生に携わる炭焼き会・竹の会、及び農業委員会等で構成した里山づくり推進協議会に補助金を交付し、里山体験として園児に田植え体験や町民対象に椎茸植菌教室を開催している。					

事業予算

会計	01	款項目	05	02	01	大事業	里山再生育成事業

		Ｒ５決算額（千円）	Ｒ６決算額	Ｒ７決算見込	Ｒ８事業費	Ｒ９事業費
	直接事業費	315	8,484	345		
	概算人件費	1,350	1,381	1,381		
トータルコスト		1,665	9,865	1,726	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		27	29	30	0	0

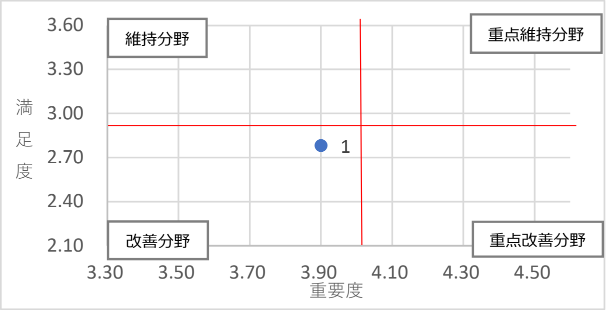
Ｒ６概算人件費	正規職員	0.37 人	1,237 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		1,381 千円

成果指標			基準値	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
①	里山体験回数（回）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		3	3			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・里山づくり推進協議会との連携による各種の里山体験学習・教室を実施し、里山の再生育成を行った。
	課題	・令和６年度末で里山体験用地（集会場・田んぼ）を返却するため、事業縮小を検討する
今年度	成果（実績）	・里山づくり推進協議会との連携による各種の里山体験学習・教室を実施し、里山の再生育成を行った。 ・里山体験用地（集会場・田んぼ）を返却した。 ・里地里山保全等促進事業補助金（県制度）の活用に向けた準備を始めた。
	課題	・令和６年度末で里山体験用地（集会場・田んぼ）を返却したため、事業のありかたを里山づくり推進協議会で検討する。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	水産振興事業			所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●	●		

事業対象	漁業者	目的	二宮町の水産業の振興を図る。
事業概要	大磯二宮漁業協同組合や広域的に漁業者の育成や水産資源の保全などの活動をしている団体に補助金を交付し、水産業の振興を図っている。		

事業予算

会計	01	款項目	05	03	01	大事業	水産振興事業

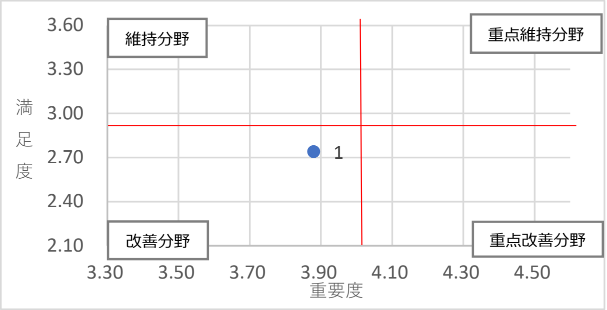
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	318	227	235		
概算人件費	647	679	679		
トータルコスト	965	906	914	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

R６概算人件費			
正規職員	0.14 人	535 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
その他	人	千円
合計		679 千円

	成果指標		基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	漁業体験回数（回）	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績値		0	0			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	水産振興	3.88	2.74
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

前年度	成果（実績）	・大磯二宮漁業協同組合の支援継続により、漁業者の育成などの水産業の振興に努めた。
	課題	・大磯二宮漁業協同組合との意思疎通に努め、必要な支援の把握に努める。
今年度	成果（実績）	・大磯二宮漁業協同組合の支援継続により、漁業者の育成などの水産業の振興に努めた。
	課題	・大磯二宮漁業協同組合との意思疎通を図り、必要な支援の把握に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	漁港整備事業					所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	漁業者	目的	漁港の整備及び維持管理を行うことで環境を保持し美化に努める。				
事業概要	漁港区域内に設置している漁港保全施設及び海岸保全施設の維持管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	03	02	大事業	漁港整備事業

		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	11,888	5,400	4,086		
	概算人件費	572	603	603		
トータルコスト		12,460	6,003	4,689	0	0
国庫/県支出金		168	221	300	0	0
その他		353	189	463	0	0

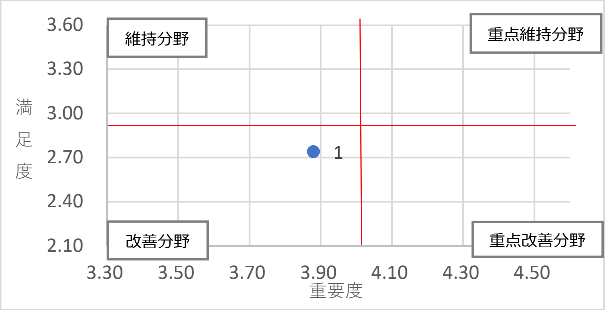
R６概算人件費			
	正規職員	0.10 人	459 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		603 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	−	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	水産振興	3.88	2.74
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・老朽化した事務所兼倉庫等の解体工事を実施した。 ・漁港区域内の草刈り漂着物等のごみ処理委託、養浜工事等を実施し、適切な維持管理を図った。
	課題	・海岸利用者等による不法行為等の迷惑行為に対しては、看板等による周知啓発を図り適切な維持管理に努める。
今年度	成果（実績）	・突堤に船の接岸に必要となる防舷材の設置（交換）工事を実施した。 ・漁港区域内の草刈り漂着物等のごみ処理委託、養浜工事等を実施し、適切な維持管理を図った。
	課題	・海岸利用者等による不法行為等の迷惑行為に対しては、看板等による周知啓発を図り適切な維持管理に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）			所管課	産業振興課

事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●

事業対象	農業者	目的	二宮町の特産品である落花生、湘南オリーブを普及奨励し、農業再生の一助とする。
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。		

事業予算

会計	01	款項目	05	01	03	大事業	特産物普及奨励事業（農業再生事業）

	Ｒ５決算額（千円）	Ｒ６決算額	Ｒ７決算見込	Ｒ８事業費	Ｒ９事業費
直接事業費	134	157	273		
概算人件費	1,463	1,757	1,757		
トータルコスト	1,597	1,914	2,030	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

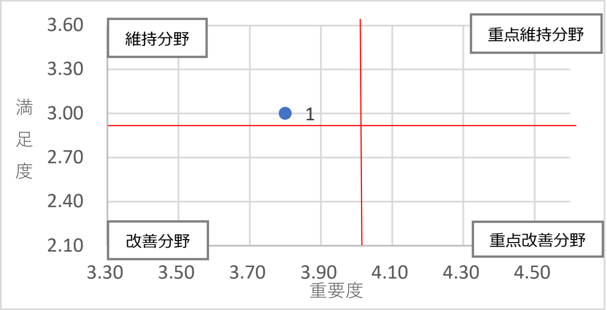
Ｒ６概算人件費			
正規職員	0.46 人	1,613 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
その他	人	千円
合計		1,757 千円

	成果指標		基準値	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
①	町内オリーブの生産量【戦略】（トン）	計画値	1.25	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7
		実績値		3.8	1			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	特産品・地域ブランドの普及	3.80	3.00
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・農業法人による生産量が増加傾向にある。個々の農業者には、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した。
	課題	・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める
今年度	成果（実績）	・全国的にオリーブの生産量が低く、二宮町の生産量も低下した。落花生の町内落花生加工業者への出荷量は260kgであり、前年度より１０kg増加した。
	課題	・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	商工業振興対策経費			所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民、事業者	目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。		
事業概要	町商工会と町商店連合協同組合に補助金を交付し、団体の事業の推進を支援し、各事業所の育成を振興する。				

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	02	大事業：商工業振興対策事業
		Ｒ５決算額（千円）	Ｒ６決算額	Ｒ７決算見込	Ｒ８事業費	Ｒ９事業費
	直接事業費	66,179	10,155	10,318		
	概算人件費	2,227	2,802	1,954		
トータルコスト		68,406	12,957	12,272	0	0
国庫/県支出金		56,037	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0

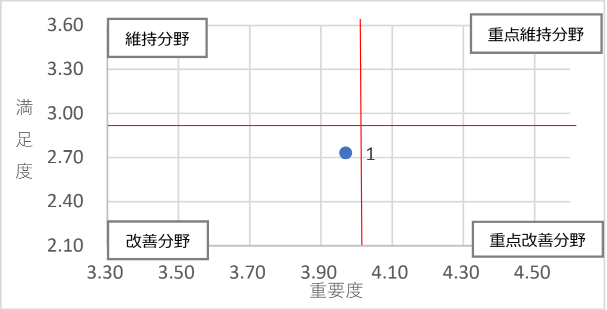
Ｒ６概算人件費			
	正規職員	0.65 人	2,657 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		2,802 千円

成果指標			基準値	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
①	起業相談件数【戦略】（件）	計画値	18	20	20	20	20	20
		実績値		31	30			
②	事業継承に関する相談【戦略】（件）	計画値	0	3	3	3	3	3
		実績値		3	1			

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	商工業の振興	3.97	2.73
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・物価高騰の影響に対する補助事業（プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し、創業支援を行い、事業者への支援を図った。
	課題	・事業者の高齢化が進んでおり、事業継承に関する検討が必要になるが、繊細な内容のため、情報発信に留まっている。
今年度	成果（実績）	・商工会・商店連合協同組合等への支援のほか、二宮ブランド等の推進により地元事業者の活動基盤の強化および地域経済の活性化を図った。
	課題	・継続して事業者の高齢化が進んでいるため、引き続き各団体と連携し事業継承・廃業等への対策について検討する。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	中小企業金融対策事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民、事業者	目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。			
事業概要	事業資金の貸付制度の運用、また貸付に伴う信用保証料や利子を補助し、　町内事業者の育成を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	02	大事業	中小企業金融対策事業

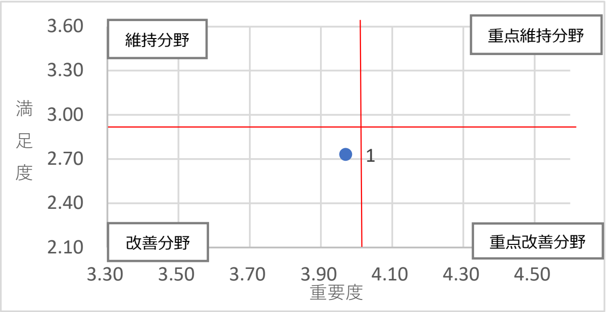
		Ｒ５決算額（千円）	Ｒ６決算額	Ｒ７決算見込	Ｒ８事業費	Ｒ９事業費
	直接事業費	23,960	22,882	23,839		
	概算人件費	1,731	2,293	1,637		
トータルコスト		25,691	25,175	25,476	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		20,000	20,000	20,000	0	0

Ｒ６概算人件費	正規職員	0.52 人	2,148 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		2,293 千円

	成果指標		基準値	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
①	中小企業融資件数【戦略】（件）	計画値	11	12	14	16	18	20
		実績値		29	19			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	商工業の振興	3.97	2.73
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・預託金や保証料・利子補助等により、中小企業や創業者の財政的支援を実施した。
	課題	・現時点で特筆すべき大きな課題はない。継続して事業の執行に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	勤労者福祉対策事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民	目的	町内在住の勤労者に対する福祉の増進と生活の安定向上を目的とし、勤労者生活資金融資預託等を推進する。			
事業概要	勤労者の生活安定を図るため、中央労働金庫と連携し、貸付制度の創設や住宅ローンの利子補助を行い、また勤労者の福祉の増進を図ることを目的とした団体に補助金を交付する。					

事業予算

会計	01	款項目	06	01	04	大事業	勤労者福祉対策事業

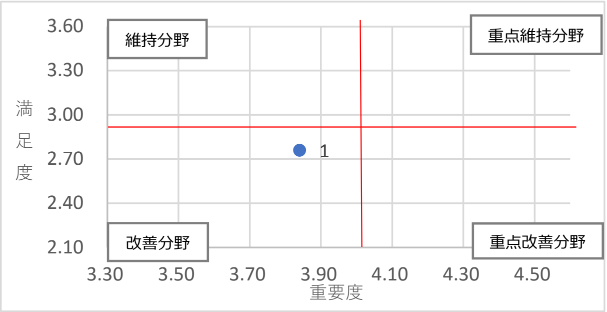
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	5,784	5,695	5,791		
	概算人件費	620	1,268	867		
トータルコスト		6,404	6,963	6,658	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		5,000	5,000	5,000	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.28 人	1,123 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		1,268 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	湘南地区労働行政連絡協議会の開催（回）	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値		2	2			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	資金雇用対策	3.84	2.76
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

前年度	成果（実績）	・団体への支援や広域連携を図ることで、勤労者福祉に寄与している。
	課題	・融資制度については、利用者が減少傾向であるため、必要に応じた検討が必要になる。
今年度	成果（実績）	・団体への支援や広域連携を図ることで、勤労者福祉に寄与している。
	課題	・金融機関からの意見や要望を踏まえるとともに、経済情勢や地域ニーズの変化に的確に対応できるよう、制度の見直しも含めた柔軟な検討を継続していく必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	中小企業退職金共済制度補助事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民、事業者	目的	町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図る。			
事業概要	従業員の退職金を支払うために、中小企業退職金共済機構に掛け金を支払いをしている事業主に対して、掛け金の一部を補助し、従業員の福祉の向上を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	04	大事業	中小企業退職金共済制度補助事業

	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	730	721	846		
概算人件費	693	1,268	867		
トータルコスト	1,423	1,989	1,713	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

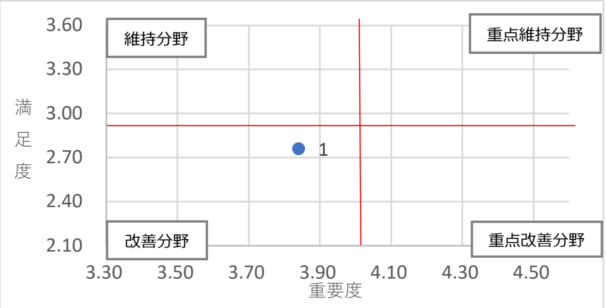
R６概算人件費			
正規職員	0.28 人	1,123 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
その他	人	千円
合計		1,268 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	新規加入者数（人）	計画値	18	18	18	18	18	18
		実績値		18	9			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	資金雇用対策	3.84	2.76
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析		
前年度	成果（実績）	・事業者への支援により、従業員の福祉の向上や雇用の安定化に結びついている。 ・電子申請を導入し、事業者における申請手間の軽減が図れた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・事業者に対して各種支援を実施し、従業員の福祉向上や職場環境の改善が図られた結果、地域における雇用の安定化につながっており、持続可能な経済活動の基盤強化に寄与している。
	課題	・現時点で特筆すべき大きな課題はない。継続して事業の執行に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」　※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	観光振興対策経費			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	観光客、町民	目的	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。			
事業概要	観光協会に補助金を交付し、菜の花ウォッチングなどを実施することで誘客を図るほか、HP等で町の魅力を発信する。 また、湘南地区観光振興協議会で、湘南への誘客イベントを実施している。					

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	03	大事業	観光振興対策経費

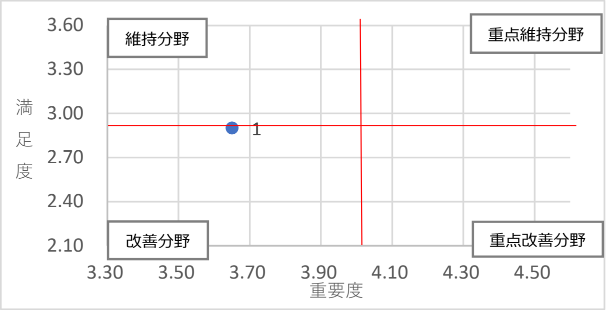
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	10,560	10,921	12,446		
	概算人件費	1,963	1,901	1,309		
トータルコスト		12,523	12,822	13,755	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.42 人	1,756 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	145 千円
	その他	人	千円
	合計		1,901 千円

	成果指標		基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	町観光入込客数【戦略】（人）	計画値	497,434	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000
		実績値		578,602	546,844			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	観光振興	3.65	2.90
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・観光協会内に一般社団法人設立準備委員会を設け、一般社団法人設立に向けての方針や定款案などの取りまとめを行い、令和７年度の法人化に向けた取り組みを推進した。 ・観光協会や各種団体とともに令和元年ぶりのふるさとまつり通常開催や第20回吾妻山菜の花ウォッチングを開催するなど取り組みを行い、二宮町観光まちづくり戦略を推進した。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・観光協会の令和７年度一般社団法人化に向け、定款等の最終整備に伴う取り組みを推進した。 ・観光協会および関係団体と連携し「ふるさとまつり」や「吾妻山菜の花ウォッチング」を開催するなど、地域資源を活かした観光イベントを通じて集客と地域活性化を図るとともに、湘南地区観光振興協議会等の各団体と連携し町外において広く誘客を実施した。
	課題	・今後も引き続き事業の執行に努めるとともに、より広く誘客活動を進める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	観光施設維持管理経費			所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	

事業対象	観光客、町民	目的	公衆トイレ等、観光施設の維持管理を行う。
事業概要	梅沢川、川匂地内観光用公衆トイレの維持管理を行う。		

事業予算

会計	01	款項目	06	01	03	大事業	観光施設維持管理経費

	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	1,252	1,315	1,672		
概算人件費	940	852	452		
トータルコスト	2,192	2,167	2,124	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

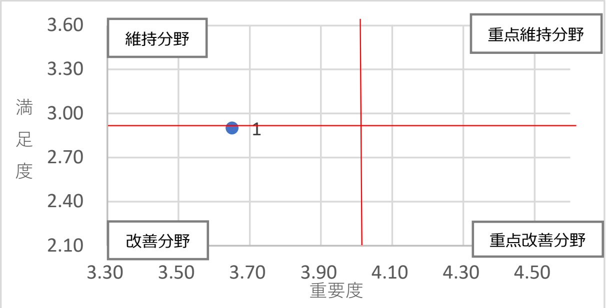
R６概算人件費			
正規職員	0.18 人	707 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	0.05 人	145 千円	
その他	人	千円	
合計		852 千円	

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	観光振興	3.65	2.90
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

前年度	成果（実績）	・繁忙期や閑散期ごとの管理を行うとともに、必要に応じた維持補修を行うことで、観光客等の利便性が確保できている。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・繁忙期と閑散期のそれぞれの状況に応じた適切な管理を行い、加えて必要に応じた維持補修作業が計画的に実施できており、観光客などの利便性が継続的に確保されている。
	課題	・特筆すべき大きな課題や支障は見受けられない状況のため、今後も引き続き必要に応じた維持補修作業等を実施しながら、円滑かつ効果的な事業の執行に努めていく。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	松くい虫被害対策自主事業				所管課	産業振興課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	松の枯死の原因となる松くい虫の被害を防止し、松の保全を図る。			
事業概要	松くい虫の被害防止として、健全な松に樹幹注入の実施や被害木の伐倒処理を行い、松の保全に取り組む。					

事業予算

会計	01	款項目	05	02	01	大事業	松くい虫被害対策自主事業

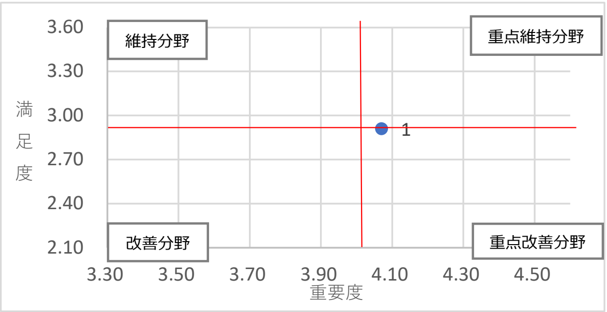
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	1,295	1,716	2,213		
	概算人件費	1,104	1,135	1,135		
トータルコスト		2,399	2,851	3,348	0	0
国庫/県支出金		909	411	1,218	0	0
その他		0	0	0	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.26 人	991 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	0.05 人	144 千円
	その他	人	千円
	合計		1,135 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	松枯れ防止剤の注入数（アンプル）	計画値	330	330	330	330	330	330
		実績値		327	370			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

前年度	成果（実績）	・樹幹注入による防除や被害木の伐倒処理により、概ね町内の地区保全森林の松は保全されている。
	課題	・近隣自治体においても被害が生じているため、引き続き松くい虫の被害防除に努める。
今年度	成果（実績）	・樹幹注入による防除や被害木の伐倒処理により、概ね町内の地区保全森林の松は保全されている。
	課題	・近隣自治体においても被害が生じているため、引き続き松くい虫の被害防除に努める。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持